

ウィーン・フィル、ベルリン・フィルと共演を重ねる世界最高峰の知性派テノール
ザルツブルク音楽祭に刻まれた、至高のデュオ
人生で一度は体験すべき、究極の『冬の旅』がここに

PCM

Ian Bostridge × Julius Drake

シューベルト

『冬の旅』

イアン・ボストリッジ

ジュリアス・ドレイク
(ピアノ)

Julius Drake, Piano

イアン・ボストリッジ
(テノール)

Ian Bostridge, Tenor

©Marco Borggreve

©Marco Borggreve

シューベルト

歌曲集「冬の旅」Op.89 D911(全曲)

2027

1/17

日

14:00 開演 / 13:30 開場 しらかわホール

SHIRAKAWA HALL

SHIRAKAWA HALL

チケット料金(消費税込) [全席指定] 9,000円 | 一般発売:9月25日(金)10:00am |

プレイガイド
• しらかわホール teket
(電子チケットのみ)



• アイ・チケット 0570-00-5310 clanago.com/i-ticket • 芸文プレイガイド 052-972-0430
• イープラス eplus.jp • チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:336-360]

お問い合わせ パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831 (平日10:00~18:00 土日祝休) www.pacific-concert.co.jp

主催:パシフィック・コンサート・マネジメント / 共催:しらかわホール(株式会社SKI)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。※就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。※こちらの公演には休憩がございません(公演時間約80分)。

——凍てつく冬、一人の男の孤独が、美しい旋律に染まってゆく——
 15年ぶりの名古屋公演が実現
 「しらかわホール」の親密な空間だからこそ、ボストリッジの歌声、息遣いがすぐそこに聴こえる
 盟友ドレイクのピアノと紡ぐ、究極の『冬の旅』がここに



イアン・ボストリッジ (テノール)

Ian Bostridge, Tenor

世界各地で目覚ましい活躍を続け、ザルツブルク、エディンバラ、ミュンヘン、ウィーン、サンクトペテルブルク、オールドバラ等の音楽祭や、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座や、各地の主要ホールおよび音楽祭に登場。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、シカゴ交響楽団、ボストン交響楽団、ロンドン交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック等のオーケストラと、サー・サイモン・ラトル、小澤征爾、ダニエル・バレンボイム、リッカルド・ムーティ、サー・コリン・デイヴィス、サー・アンドリュー・デイヴィス、サー・アントニオ・パッパーノ、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ダニエル・ハーディング等の指揮者と共演している。

録音はグラミー賞への計15回にわたるノミネートをはじめ、数多くの国際的な賞に輝く。近年はダニエル・ハーディングとブリテン『ビリー・バッド』、ジュリアス・ドレイクと歌曲集『ヨハネとエステル』、サスキア・ジョルジーニと『シューマン：歌曲集』等をリリース。アントニオ・パッパーノとの『シェイクスピア・ソングズ』は2017年グラミー賞を受賞している。

オックスフォード大学で歴史学の博士課程を修了、名誉学士を授与され、セント・アンドリュース大学の名誉音楽博士を授与されている。2004年には大英帝国勲章のひとつであるCBE勲章を受勲。Faber&Faber社より出版した『Schubert's Winter Journey: Anatomy of an Obsession』(邦訳『シューベルトの「冬の旅」』)は、2016年ダフ・クーパー賞を受賞した。



ジュリアス・ドレイク (ピアノ)

Julius Drake, Piano

ザ・ニューヨーカー誌で“傑出したコラボレーティヴ・ピアニスト”と称され、室内楽のスペシャリストとして世界の一流アーティストとリサイタルやレコーディングの双方で数多く共演を重ねている。

各地の主要ホールや音楽祭に登場しており、これまでに、ザルツブルク音楽祭、オールドバラ、エディンバラ、ミュンヘン、シュベールティアード、カーネギーホール、リンカーンセンター、アムステルダム・コンサートヘボウ、ベルリン・フィルハーモニー、ルーブル美術館、ミラノ・スカラ座、ウィーン・ムジークフェライン、ウィーン・コンツェルトハウス、ウィグモア・ホール、BBCプロムス等で演奏している。2000～2003年、オーストラリアのパース国際室内楽音楽祭の監督を務め、またデボラ・ワーナー演出による『ヤナーチェク：消えた男の日記』の音楽監督として、ミュンヘン、ロンドン、ダブリン、アムステルダム、ニューヨークで公演を行った。2009年よりウェールズのマコンスレス音楽祭の芸術監督を務める。

歌曲に情熱を注いでおり、毎年ロンドンのミドル・テンプル・ホールで一流の歌手とのリサイタル「ジュリアス・ドレイクと仲間たち」を開催し、サー・トーマス・アレン、オラフ・ベアー、イアン・ボストリッジ、デイム・サラ・コノリー、アリス・クート、ルーシー・クロウ、アンゲリカ・キルヒシュラーガーをはじめ数多くの優れた歌手を招いている。近年はロッケンハウス音楽祭、ウエスト・コーク室内楽音楽祭、オックスフォード・リーダー・フェスティバル、ボスヴィル音楽祭等に登場する。

ジェラルド・フィンリー、クリストフ・プレガルディエン、アンナ・プロハスカ等と膨大な録音を残し、グラモフォン賞をはじめ数多くの賞を受賞。ギルドホール音楽演劇学校教授。



交通のご案内 / 地下鉄東山線・鶴舞線 伏見駅から徒歩4分
 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
 052-222-7110(代表)